

東映アニメーション執行役員、製作部長
兼企画部エグゼクティブプロデューサー 鷺尾 天（昭和59年卒）

子どもの記憶よ、永遠に



業規制なども強化されましたが、その頃は不夜城のようでした。

の子だからすぐ泣いたりするのは止めよう」といつも言つていました。また、女の子はピンクというイメージをひっくり返して黒をメインカラーにしました。1年目に4~6歳の児の年間平均視聴率39%、最高視聴率62.5%という驚くべき数字を取



あめだま
©Baek Heena, Toei Animation

私は高校卒業後、慶應義塾大学に進学し、卒業後は1992年から6年ほど秋田朝日放送で報道記者をやりました。そこから東映アニメーションに移り、アニメや映画制作の道へ進むことになりました。今は新しいビルになりましたが、当時は古い建物で、スタッフルームにはフィギュアが山ほどべてあって、まさに趣味に生きている方ばかりでした。現在では残す。

皆さん、こんには。昨日は、久しぶりに同期の方々と集まり、昔話に花を咲かせました。（笑）当時のことがよみがえり、改めて自由奔放な学校生活を送っていたものだと思います。（笑）当時の先生方にはご迷惑をおかけしたかもしれません。この場を借りて謝ります。

さて、本日は「子どもの記憶よ、永遠に」というテーマでお話しします。私は、子供向けのアニメを中心、「おしゃりたんてい」などを手がけてきました。ご存じだと思いますが、女の子向けのアニメ、プリキュアは2004年に西尾大介監督と組んで始めました。それまでの女の子のアニメは魔法が使えるとか素敵な王子様が助けてくれるというのが多かったのですが、プリキュアは普通の中学生が自分たちで問題に立ち向かうというテーマで行くことになりました。当時は非常に斬新でした。西尾監督は、「女



黒が基調のプリキュア

©東映アニメーション

米アカデミー賞にノミネート

ここで少し別の作品の話をさせください。

短編アニメーション「あめだま」という作品です。原作は韓国

2023年には、20周年で、全プリキュアが登場する映画を作つたら社会人になった20年前の女子たちが映画館に戻つて来てくれました。また、スピノオフのTVシリーズとして「大人になつたプリキュア」というコンセプトの作品も放送しました。「大人になるのも悪くない」というメッセージを込めます。

映像との出会い

私は高校卒業後、慶應義塾大学に進学し、卒業後は1992年から6年ほど秋田朝日放送で報道記者をやりました。そこから東映アニメーションに移り、アニメや映画制作の道へ進むことになりました。今は新しいビルになりましたが、当時は古い建物で、スタッフルームにはフィギュアが山ほどべてあって、まさに趣味に生きている方ばかりでした。現在では残す。

皆さん、こんには。昨日は、久しぶりに同期の方々と集まり、昔話に花を咲かせました。（笑）当時のことがよみがえり、改めて自由奔放な学校生活を送っていたものだと思います。（笑）当時の先生方にはご迷惑をおかけしたかもしれません。この場を借りて謝ります。

さて、本日は「子どもの記憶よ、永遠に」というテーマでお話しします。私は、子供向けのアニメを中心、「おしゃりたんてい」などを手がけてきました。ご存じだと思いますが、女の子向けのアニメ、プリキュアは2004年に西尾大介監督と組んで始めました。それまでの女の子のアニメは魔法が使えるとか素敵な王子様が助けてくれるというのが多かったのですが、プリ

キュアは普通の中学生が自分たちで問題に立ち向かうというテーマで行くことになりました。当時は非常に斬新でした。西尾監督は、「女

私は、子供向けのアニメを中心、「ワンピース」、「プリキュア」、「おしゃりたんてい」などを手がけてきました。ご存じだと思いますが、女の子向けのアニメ、プリキュアは2004年に西尾大介監督と一緒に始めました。それまでの女の子のアニメは魔法が使えるとか素敵な王子様が助けてくれるというのが多かったのですが、プリ

キュアは普通の中学生が自分たちで問題に立ち向かうというテーマで行くことになりました。当時は非常に斬新でした。西尾監督は、「女

の絵本。リンドグレーン記念文学賞を受賞したペク・ヒナさんの作品です。内気な少年が不思議な大ヒット。今やプリキュアは87人にまで増え、日曜朝8時半の枠を支え続けています。

「あめだま」を通じて次第に心を大きな壁にぶつかりました。これでシリーズも終わりかと思いましが、キャラクターデザインに初めて女性を起用し、「2人はプリキュア」というタイトルで始ました。が、キャラクターデザインに初めて女性を起用し、「2人はプリキュア」というタイトルで始ましたのに、5人チームにしたら再び大ヒット。今やプリキュアは87人にまで増え、日曜朝8時半の枠を支え続けています。

2023年には、20周年で、全プリキュアが登場する映画を作つたら社会人になった20年前の女子たちが映画館に戻つて来てくれました。また、スピノオフのTVシリーズとして「大人になつたプリキュア」というコンセプトの作品も放送しました。「大人になるのも悪くない」というメッセージを込めます。

Profile

わしお・たかし／1989年慶應義塾大学法学部卒。92年AAB秋田朝日放送入社。98年東映アニメーション（旧東映動画）入社。企画部プロデューサーとして「キン肉マンII世」、「ふたりはプリキュア」、「怪談レストラン」、「おしゃりたんてい」、「不思議駄菓子屋 銀天堂」などを立ち上げる。現在は、東映アニメーション執行役員、製作部長兼企画部エグゼクティブプロデューサー。趣味…な、無い！モットーなるべく頑張る

の子だからすぐ泣いたりするのは止めよう」といつも言つていました。また、西尾監督が「おしゃりたんてい」を手がけたときに見つけたもので、その頃に見たものは忘れませんよね。昨日の夕食に何を食べたかを忘れて、子どもの頃の記憶は持ち続けている。私もそうです。そういうものを創る仕事ができたことを本当に喜びに感じています。

23日には5作品に絞られるというので、みんなでテレビの前に集まって固唾をのんでオンラインの生中継を見ていきました。英語のタイトルの「マジックキャンディ」が途中まで読まれたところでみんながクラッカー鳴らして、もうその後のことは全然記憶にありません。そして3月2日にあのアカデミー賞授賞式に行つてきました。みんなドレスアップして。セレブたちもたくさん来ていて、ちゃんと写真を撮つてます。でもいましたが、私はあちこち取材で引き回されているうちに気づいたら会場に入つてたという感覚もありませんでした。アカデミー賞の受賞はなりませんでしたが、大変貴重な経験をさせていただきました。